

1 事業概要

当財団は、「すべては患者さんのために」という理念のもとに救急医療の確立、高度医療の推進、予防医学の推進、更に介護・福祉との連携を強化し、多様化するニーズに対応した医療・介護・福祉サービスの新たな事業を展開するとともに、既存事業の強化・拡充を推進してきました。さらに、新型コロナウイルス感染症対策に行政と連携して、2類から5類感染症に移行した後も、地域の皆さんへのワクチン接種など積極的に取り組み、地域の安心安全と医療体制の維持、継続に努めました。

令和5年度の本院建替プロジェクトの進捗については、令和4年11月に建て替え予定地である約15haの旧福島県農業試験場跡地を協力企業と共に取得できたことから、地域のニーズを的確に取り入れ「新興感染症への対応」「高度・広域救急への対応」「災害医療への対応」を中心とした新しい総合病院建設プランの策定を進めると共に、メディカルヒルズ郡山基本構想に基づいたまちづくりに向けた地区計画の策定について、協力企業と共に郡山市等の行政と協議を進めました。

創立40周年を機に、医学の発展と将来の地域医療を担う医学生を支援するため「渡邊一夫記念奨学金」を創設し令和4年度から運用を開始し、これまで6名を支援しました。

また、世田谷区梅ヶ丘の「東京リハビリテーションセンター世田谷」は社会福祉法人南東北福祉事業団との共同による介護老人保健・障害者支援・回復期リハビリの複合施設として開所から5年目となり、これまでの活動を世田谷区と共に検証し、更なる連携強化により稼働率の向上に努めました。同じく5年目となる「南東北創薬・サイクロトロン研究センター」も、ホウ素中性子捕捉療法（BNCT）の適応診断・PET 薬剤を使用した早期認知症診断の臨床研究など、着実に成果を上げています。

病院等の事業については、新型コロナウイルス感染症の鎮静化などで入院患者数は前年度から12,000人ほど増加しましたが、外来患者数ではPCR検査の減などにより49,000人ほど減少し、手術件数は法人全体（本院、医療・眼科クリニック、福島病院）で約1,300件増の11,106件となりました。また、高性能の心・血管X線撮影装置を備えたハイブリッド手術室などでは、本年度は483件の手術を実施し、手術支援ロボット「ダ・ビンチ」は224症例の実績となりました。

介護老人保健施設等の事業において、前年度からの入所施設実績は新型コロナウイルス感染症の鎮静化などにより延べ1,100人ほど増加し、通所施設は延べ5,400人ほど増加しました。

南東北グループの各病院等による実績報告や新型コロナウイルス感染症対策などのTV会議を頻繁に開催し、グループ間の情報共有や意見交換など連携を維持・強化しました。また、令和4年に南東北グループの一員となった医療法人あさひ会（矢吹町）はグループからの支

援などにより安定稼働に努めました。同年、グループの職員採用業務のセンター化を目指し設立した一般社団法人 STR ヘルスケアグループ（世田谷区梅ヶ丘）は経理事務支援など業務の拡充を進めました。このように、毎年着実に医療、介護、福祉事業等を推進し、グループ全体では、令和6年3月時点で9法人、職員数約8,500人、事業所数約100施設に成長しています。

2 主要な計画の進捗状況

1) 当法人は、南東北グループの中心法人として、新型コロナウイルス感染症の影響などから Web 等の活用による会議などを開催し、グループ法人間の情報共有化などの連携強化を図ることにより、各種事業を効率的、効果的に推進しました。

・16 ゼロ作戦の推進

・稼働率の向上、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の情報共有化と実施の徹底

・本院建替プロジェクトではメディカルヒルズ郡山の地区計画策定に向け郡山市など行政と協議を進めると共に、本院建て替えの基本・実施設計などに取り組みました。また、令和4年に医療法人あさひ会（矢吹町）を南東北グループの一員に迎え、グループ各施設との連携体制を強化し稼働率の向上に努めました。さらに、同年、グループの職員採用業務のセンター化のため設立した一般社団法人 STR ヘルスケアグループ（世田谷区梅ヶ丘）は、経理支援などの業務に取り組むなど事業拡大や新規プロジェクトを着実に推進しました。

・職員の自己研鑽と医学の発展に寄与するため、国の科学研究費補助金による研究が14件、医師による学会誌等への論文発表が44件など多くの実績を挙げました。また医薬品の治験にも積極的に取り組み24件（うち新規8件）の治験を行いました。

・医学の発展や社会福祉の増進等に寄与するため、大学、学会、社会福祉法人等へ68件、4億8,900万円の寄附を行いました。

・WEB セミナーを4回、医学健康講座を7回開催すると共に、TV、ラジオやホームページ等を活用し市民などへの正しい医療知識の普及に努めました。

2) 総合南東北病院、南東北医療クリニック、南東北眼科クリニックの実績は新型コロナウイルス感染症の鎮静化などにより、入院患者数は1ヶ月あたり延べ500人ほど増加しましたが、外来患者数についてはPCR検査の減などにより1ヶ月あたり延べ1,600人ほど減少しました。

3) 南東北がん陽子線治療センターの治療患者数は、新型コロナウイルス感染症の鎮静化などにより、昨年度を若干上回る564人となりました。また、南東北BNCT研究センターの治療実績は56例となりました。

4) 南東北福島病院は、新型コロナウイルス感染症の鎮静化により、入院患者数は1ヶ月あたり、延べ400人ほど増加しましたが、外来患者数はPCR検査の減などにより延べ2,000人ほど減少しました。

5) 東京リハビリテーションセンター世田谷は、これまでの運営内容を世田谷区と共に検証し、業務連携を強化し着実に稼働を伸ばしました。

6) 介護老人保健施設、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、通所リハビリテーションセンターの実績は、新型コロナウイルス感染症の鎮静化などにより、入所系施設利用者で延べ1,100人ほど増加し、通所系は延べ5,400人ほどの増加となりました。

3 主な事業成果

1) 収支関係

令和5年度の経常収益は37,951百万円、令和4年度に比べ1,525百万円の減収となりました。経常支出は36,822百万円、令和4年度に比べ363百万円下回りました。経常利益は1,157百万円となり、令和4年度の2,297百万円に比べ1,140百万円の減益となりました。

5月から新型コロナウイルスが5類移行となりましたが、感染は継続しており院内クラスタの発生によって、入退院及び病床調整、感染した職員の病休等による稼働低下、外来のPCR検査減に伴う延べ患者数の減少のほか、コロナ関連補助金の終了等の影響が大きく、平均在院日数の短縮、手術件数の増加、入院患者延べ数の増加などによって収入増も図られたものの、結果的には大幅な減収となりました。

開設5年目の東京リハビリテーションセンター世田谷の回復期リハ病院等は連続して黒字を達成しましたが、化学療法の増に伴う医薬品費、手術件数増や値上げ等による材料費の増加、医師等採用増に伴う人件費増、電気料の高止まりに加え、コロナ関連補助金の終了などによって、経常利益は大幅な減益となりました。

2) 職員数

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
男 性	980	960	883	867
女 性	1,988	1,962	1,856	1,855
合 計	2,968	2,922	2,739	2,722

(R6.4.1 現在) (R5.4.1 現在) (R4.4.1 現在) (R3.4.1 現在)

3) 患者数

入院患者延数（郡山は本院のみ）

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
郡 山	167,171	161,591	170,195
福 島	52,659	47,974	50,403
世 田 谷	31,653	30,035	29,139
合 計	251,483	239,600	249,737

外来患者延数（郡山は本院、医療・眼科クリニック、陽子線センターの合計）

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
郡 山	504,714	524,489	523,983
福 島	53,742	78,141	63,141
須 賀 川	10,084	11,922	11,252
滝 根	10,369	11,241	11,604
裏 磐 梯	3,626	4,032	4,704
泉 崎	15,013	17,010	15,724
合 計	597,548	646,835	630,408

4) 手術件数

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
郡 山	10,337	9,177	8,483
福 島	769	641	511
合 計	11,106	9,818	8,994

5) 救急車台数

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
郡 山	6,512	6,400	5,688
福 島	737	708	594
合 計	7,249	7,108	6,282

6) 陽子線治療患者数

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
患 者 数	564	558	509

7) PET検査実績

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
検 査 数	6,136	6,591	6,590

8) 介護老人保健施設入所者延数

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
ゴールドメディア	32,604	31,669	31,570
福 島	34,862	34,948	35,295
三 春	30,527	31,873	31,983
川 俣	32,188	32,719	31,502
泉 崎	27,333	26,218	20,921
世 田 谷	32,562	31,519	30,154
合 計	190,076	188,946	181,425

9) 通所リハビリ利用者数延数

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
ゴールドメディア	17,678	16,283	27,287
須賀川	18,345	17,119	17,342
福島	11,044	10,779	11,502
川俣	8,789	9,068	8,759
三春	12,912	12,725	11,809
泉崎	10,168	8,919	10,474
世田谷	18,771	17,458	16,273
合計	97,707	92,351	103,446

4 理事会、評議員会の開催

• 第1回理事会 (Web 併用)

令和5年6月14日

議題：令和4年度 事業報告・収支決算について

「医療法人社団新生会」からの事業譲受について

• 第1回評議員会

令和5年6月30日

議題：令和4年度 事業報告・収支決算について

「医療法人社団新生会」からの事業譲受について

• 第2回理事会 (Web 併用)

令和6年3月6日

議題：代表理事 (理事長) の選定について

総長の選定について

令和6年度事業計画・収支予算について

金融機関からの借入について

公益目的支出計画の変更について

東京リハビリテーションセンター世田谷に係る抵当権の一部解除について

報告事項：医療法人社団新生会からの事業譲受の進捗状況について

• 第2回評議員会

令和6年3月27日

議題：令和6年度事業計画・収支予算について

金融機関からの借入について

公益目的支出計画の変更について

東京リハビリテーションセンター世田谷に係る抵当権の一部解除について

報告事項：代表理事 (理事長) の選定について

総長の選定について

医療法人社団新生会からの事業譲受の進捗状況について

5 主な出来事・行事等

- 南東北グループ入社式
令和5年4月1日 各施設で分散入社式 576名参加
- 南東北グループ新入職員歓迎会
令和5年5月12日 郡山市（ホテルハマツ） 約350名参加
- 第4回STR医学会
令和5年5月27日 郡山市（総合南東北病院） 発表者11名 約80名参加
- 第35回南東北連合学会
令和5年5月28日 郡山市（総合南東北病院） 発表者27名 約120名参加
- 令和5年度郡山市功労者表彰：一般財団法人脳神経疾患研究所（渡邊一夫理事長）
令和5年9月1日 郡山市役所 正庁
- 第29回病院まつり及び第19回南東北グループ大運動会
令和5年10月11日 新病院建設予定地（郡山市富田町）約3,000名参加
※近隣住民の参加含む
- 第21回 日本臨床医療福祉学会
令和5年10月13～14日 福島市（コラッセ福島） 約200名参加
- 紺綬褒章伝達式：一般財団法人脳神経疾患研究所（渡邊一夫理事長）
令和5年10月31日 福島県立医科大学 8号館会議室
- 地域災害拠点病院災害対応訓練
令和5年10月28日 郡山市（総合南東北病院） 約150名参加
- 第36回南東北連合学会
令和5年11月3日 郡山市（総合南東北病院） 発表者29名 約120名参加
- 第5回STR医学会
令和5年11月11日 郡山市（総合南東北病院） 発表者27名 約100名参加
- 第19期（令和4年度入職） 初期臨床研修医修了式
令和6年3月19日 郡山市（総合南東北病院） 修了証書授与 15名